

No.3-2004

平成16年3月31日発行

## 3月例会を終えて

「魅力あるまち」とは一体どんなまちなのだろうと考えた時に浮かんだのが東京ディズニーランドでした。東京ディズニーランドには私自身、何度も足を運んだにも拘らず、また行きたくなる魅力があります。こんな素敵なテーマパークを創り上げた人はきっとすごい人に違いない。会って話をしたい。

そんな思いから3月例会の講師として東京オリンピック、大阪万国博覧会などを企画プロデュース、東京ディズニーランドの総合プロデューサーとして誘致、立ち上げに携わり、JCのOBでもある堀貞一郎氏をお招きしました。

例会では「感動が人を動かす」～魅力あるまちづくりを目指して～と題して、時代の移り変わりを様々なデータをもとに、分かりやすくご講演戴きました。今日が生活の豊かさを求めている時代「工業化社会」か

ら心の豊かさを求める時代「コミュニケーション社会」へと変わっている事、そして東京ディズニーランドの成功の秘訣は来場者の98%のリピーターである事。そしてそのリピーターを生むには“顧客満足”ではなく“顧客感動”であり、スタッフ一人一人の心の内で生産されるサービスが“感動”を生み出し、またその“感動”によってお客様から“感動”が還ってくる事を熱心にお話しして戴きました。“顧客感動”の実例として、ディズニーランドでのスタッフとゲストのやり取りや、ゲストからのお礼の手紙をお話戴き、会場内でも感動が生み出されている様子でした。

このたび会員の皆様には通常より時間が早まったにも拘らず、多数のご参加を戴き心から感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

魅力あるあきた推進委員会 委員長 石田隆一



堀貞一郎先生



講演の様子



松村理事長と

委員会 活動紹介 **青少年育成委員会**

今回、私達青少年育成委員会の活動について紹介させていただきます。

奈良依里子委員長を初めとして、岡竹博昭副委員長、国安忍運営幹事、安達光、小笠原和則、利部浩、佐野克彦、渋谷守寿、三浦圭介で運営している当委員会は、現在『あきた発育ネットプログラムに』取り組んでおります。昨年、市内の小学校を対象としてひまわりを育てるというツールを使って行なった教育の情報化事業で、参加して戴いた小学校から大変好評を得て、今年も継続する事になった事業です。

このプログラムは、参加校にひまわりを育成して戴き、発育の過程をサイトに報告、掲示板で情報交換して貰い、最終的には、植物の背丈、花の大きさ、種の数、葉の数の4部門で表彰を行ないます。

委員会メンバーは、去年より多くの参加校を募るため、各校に伺い事業をより理解して戴こうと奔走しております。

沢山の方々に参加して戴き、掲示板へよりアクセスして貰う事が情報化教育向上につながり、また、小学生の皆さんのネット上での交流が盛んになる事を目標としております。

青年会議所の事業としては勿論、輝く未来（子供達）

を育てる為の地域共育に役立ちたい、それが委員会メンバーの願いです。

今年度、展開するであろう『あきた発育ネットプログラム』のサイトを是非覗いて見て下さい！

青少年育成委員会 三浦圭介



<http://www.akitajc.jp/himawari/index.html>

出向者 紹介 **(社)日本青年会議所東北地区協議会**

この度は、原稿依頼をいただきまして誠にありがとうございます。折角の機会ですので東北地区協議会の紹介をさせていただきます。

皆様ご存知の通り本年度は、当秋田JCより（社）日本青年会議所東北地区担当常任理事として深沢功君を輩出しております。日本の担当常任理事が東北地区協議会の会長職に就任するという事になっております。「深沢地区担（ちくたん）」などと耳にするのはこの事です。

日本JCは10地区に分かれており日本の全会員数46,000人中の10人が地区担当常任理事兼地区会長として日本青年会議所の運営に携り、東北地区協議会会長としてもその責務を全うされているところです。わたくしも微力ながら運営専務としてお手伝いをさせていただいております。

予定者会議を含めますと昨年の7月より活動しており既に9ヶ月が経とうとしています。

東北地区協議会の円滑な運営にご尽力いただいているのが荻原慎太郎事務局長をはじめとする曾我祐一次長、塩田和彦次長、加藤誠次長の皆様です。各会議・委員会



荻原東北地区協議会事務局長 曾我東北地区協議会事務局次長

には、全国支援会議に山岡成司郎君、新ネットワーク創造委員会に進藤政弘君、東北青年フォーラムプロデュース委員会に渡部裕君、東北ゼミナール委員会に時田祐司君、財政特別委員会に相場宏泰君、総務委員会に岡竹博昭君、辻康平君が出向されています。

各活動内容や出向のすばらしさをこの場でお伝えできないのは、残念ですが、是非上記の方々をお見受けしましたら聞いてみて下さい。そして伝える機会を与えてください。懇々と飲みながらでも語らせていただきます。

出向理事 岩本之正

## 新入会員アンケート

青年会議所という団体は、その規模の大きさや長い歴史、知名度のわりには、「一体何をしている団体なのかよくわからない」という声を聞くことがあります。情報サービス委員会では、メンバーが青年会議所活動をどのように考えているか、またどのような方向に進むべきか、を自問することでより良い青年会議所の未来を模索していこうと考えています。手始めに秋田青年会議所2004年度新入会員9名に、入会後の感想を簡単なアンケート形式で回答してもらいました。

### 問1 JCに入会して感じた事

答) 最初はどのような会議所かわからないまま入会したのですが、先輩方からの適切なご指導によって芯を持った素晴らしい場所であると感じました。

答) 自分の住んでいる地域だけでなく、全国・世界に広がりがありJCの大きさに驚きました

答) 色々な業界の人がいて、普通はなかなか知り合えない方と知り合え、お話できるのでいい勉強になります。

答) 己の未熟さを改めて痛感いたしました。皆様の様に魅力的なかつこいい大人になれるよう努力していきたいと思えます。

### 問2 入会前と入会後のギャップ

答) 先輩たちのJC活動に対する真剣な取り組み、情熱に正直、驚いています。入会前は月二回程度の活動で済むであろうと思っていた自分の考えが先輩の姿を見て恥ずかしく思えて来ました

答) 経営セミナーのようなことをしているのかと思っていた。スクールや入会後の委員会などを通してコミュ

ニケーション力の高い方が多いことに感心した。

答) 入会前に想像していたよりは、真面目な人が多いと思いました。

答) 入会前はとてもお堅い所であると思っていました。しかし、皆さんから気軽に声を掛けていただいたおかげで、楽しい場所であると思った。

### 問3 JCに対する素朴な疑問

答) JCは最終的には何を目標として活動しているのですか？

答) 理事長がする首飾りの意味は？又、素材は何でできているのでしょうか

答) 仕事とJC活動をどのように両立しているのですか？秘訣は？

答) なぜJCソングはあるのでしょうか？

意外(?)にも好印象が多くを占めています。入会后1年経過後、3年、5年、10年、卒業予定メンバーなど立場や経過年数によって、青年会議所に対する印象は大きく異なってくると思います。入会時に、青年会議所で何をしたいのか？という質問を受けたことと思いますが、そのような明確な目標は、入会后数年たったメンバーにおいても、なかなか持ち得ないのではないのでしょうか。私の場合、むしろどのような自分になりたいのか、という目標を持ち、その自己実現のためにいかに青年会議所に携わっていくかということを考えています。JCニュースではメンバー皆様の青年会議所に対するご意見をお待ちしております。

詳しくは情報サービス委員会 辻までお願いします。

## 同好会紹介・ソーラーカーの巻



こんにちは！秋田JCソーラーカー同好会です。今回は私共の同好会を紹介させていただきます。参戦歴は1994年のソーラーバイクから始まり今年で10周年を迎えます。今まで連続出場しておりリタイヤした事は有りません。チーム名は「TEAM AKITA JC」、車輛名は「JC SPIRIT」号といい現在は2代目のマシンになります。クラスとしてはハーフサイズカテゴリー・ストッククラスという部分に入ります。

昨年は少しのタイム差で惜しくもクラス優勝を逃しましたが2位入賞！という事で表彰台に上がることが出来ました。どんな競技もそうですが表彰台に上がるのは並大抵のことではありません。本年度の参加目標

と致しましては昨年の悔しさをパネに必ずクラス優勝を捕る！！という意気込みで邁進して行きます。

2004年ワールド・ソーラーカー・ラリーは8月1日(日)～8月3日(火)に開催されますがこの大会には特別の思いがあります。10年目の節目は勿論のこと、メンバー総括の長谷川監事と私がラストイヤーだからです。現役最後の想いとしてはここまでソーラーカー同好会を築き上げ、支えて戴いたOBの皆様、そしてご支援ご協賛を賜りました皆様に御礼の意をしめたく、それには何としても長年の夢であるクラス優勝を果たす事が一番と考えチームが一丸となって頑張ります！！

最後に誠に恐縮では御座いますがソーラーカー同好会はメンバーの会費と会員皆様のご協賛金を主に運営しております。本年度も同好会運営に何卒ご理解ご協力を賜ります様お願い申し上げます。ソーラーカー同好会の紹介を終わります。

秋田JCソーラーカー同好会  
会長 矢沢 郁雄



## 臨時総会・4月例会開催のご案内

### 臨時総会開催のお知らせ

下記要領にて臨時総会を開催致します。  
総務・交流委員会 委員長 小南 淳

#### 記

日時 / 平成16年4月14日(水) 18:00~18:30  
会場 / 秋田キャッスルホテル 放光の間  
議案 / 社団法人秋田青年会議所役員選任規定  
に関する規定の一部変更(案)の件

### 4月例会開催のお知らせ

平成16年4月14日(水) 18:30~21:15、秋田キャッスルホテルにおいて、国を考える委員会担当例会を開催いたします。今回の講師は衆議院議員の森田一氏を講師に招き国の未来について講演及びメンバーと多岐にわたりディスカッションを行います。この国の未来の為に政治の現状を知り、私たちの声を政治に反映させるチャンスと考えております。沢山のメンバーの御参加・御意見賜りたいとお願い申し上げます。

国を考える委員会 委員長 最上英嗣

## 理事長コラム



サッカーのワールドカップ日本代表のジーコ監督が8名の選手を代表から外した。理由は合宿中に規律を破り日本代表としての自覚に欠け、信頼関係が崩れたとのこと。その中にはオリンピック予選で活躍したあの久保

や他の主力選手も多数含まれていました。ジーコ監督は、日本を代表している選手として誇りを持ち、日本国民を自分達のプレーで喜ばせることができる幸せを忘れず、その責任、使命を果たすことの自覚を求めた。

ワールドカップは各国の代表が国の名誉と誇りを賭けて真剣勝負する場。だからそれぐらいの気概が無ければ勝負にならないし参加する資格が無いということか。世間では何も主力選手までも外さなくてもと言う意見もあり賛否両論。私は勿論ジーコ監督の判断に賛成。国の名誉と誇りを掛けて戦うのが国際スポーツであり、だからこそ我々はそこに大きな感動を持つ。そのぐらいの誇りと自覚は持って欲しいし、逆にそれだけの喜びと経験を彼らは得ているはずだから。

イラクに派遣中の自衛官達が同じ国を代表する

者同士という意味で野球の日本代表監督の長嶋監督さんに寄せ書きを贈ったとか。

スポーツの代表と自衛隊。日の丸を背おったことなどない私のような一般人には実体験はないが、人間が大きな力を発揮するには誇りや名誉というぐらいの強い意志を持つことが大切なのだ、と感じる。自国の誇りや名誉より経済性を優先しているわが国の状況が厳しすぎるという世論に表れている。

秋田JCの3月例会の講師は東京ディズニーランドの誘致活動等で活躍された堀貞一郎さん。東京ディズニーランドと言えばサービス業では常に目標とされている企業。例会でもその訳についてもお話いただいたが、従業員が生き生きやりがいを持って仕事をしているからこそ出来るサービス。皆がそこで働くことに誇りを持っている。それが、感動が渦巻く原点。

ではわが社の従業員はそんな気持ちを持っているだろうか？まずは私が日本代表に負けにくいぐらいの自覚と責任を持たなくては！「それぐらいの経験と喜びを感じる機会は得ているでしょう！」と言う従業員の声が聞こえた気がして耳が痛い。家族や従業員あつてのJC活動。社業もJCも誇りと気概を持ってやらねば！

(社)秋田青年会議所理事長 松村讓裕

## 編集後記

やっと春らしい季節になりました。この度新入会員アンケートを担当させて頂きましたが、皆さんの志の高さに驚きました。自分の入会時はどうだったかなと、自分も初心に

かえれたような気がします。新人の皆様今の思いを忘れずに頑張ってください。

情報サービス委員会 菅原渉